

# 令和元年度 第1回坂東市地域公共交通会議 議事録

## 1. 日時

令和元年7月26日（金） 午後2時30分～午後4時30分

## 2. 場所

坂東市役所 3階大会議室

## 3. 会議内容

(1) 開会

(2) 委員委嘱

(3) 委員紹介

(4) あいさつ

(5) 議事

審議第1号 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の運賃改定について

審議第2号 坂東市地域公共交通網形成計画の作成について

①公共交通の現状について

②坂東市地域公共交通網形成計画の作成について

③市民アンケート調査等の実施について

(6) その他

(7) 閉会

#### 4. 出席者（順不同・敬称略）

- 出席者 25名（うち代理出席1名） 別紙のとおり
- 欠席者 5名
- 事務局 坂東市企画課 4名
- 傍聴者：0名 随行者：2名（筑波大学システム情報系学生）

#### 5. 議事要旨

- (1) 審議第1号 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の運賃改定について
  - ・守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の運賃改定について承認された。
  
- (2) 審議第2号 坂東市地域公共交通網形成計画の作成について
  - ①公共交通の現状について
    - ・公共交通の現状について説明した。
    - ・公共交通の利用促進について今後検討する。
  
  - ②坂東市地域公共交通網形成計画の作成について
    - ・坂東市地域公共交通網形成計画の作成について説明した。
    - ・坂東市地域公共交通網形成計画の作成を進めていく。
  
  - ③市民アンケート調査等の実施について
    - ・市民アンケート調査等の実施について説明した。
    - ・市民アンケート調査等を進めていく。
  
- (3) その他
  - ・次回の会議は10月下旬の開催を予定している。

## 6. 協議内容

(1) 審議第1号 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の運賃改定について

委員 : ・並行して走る「急行坂東号」と同じ運賃に改定するというのか。

事務局 : ・「急行坂東号」と同じ運賃体系である。

会長 : ・関東鉄道の「急行坂東号」と並行して、「直行坂東号」を運行しているので、合わせるということである。

委員 : ・資料2に「直行坂東号」の利用者数が出ている。「急行坂東号」の利用者数のデータはないのか。

事務局 : ・今回の資料には載せていないが、「急行坂東号」についても関東鉄道からデータを提供いただいている。今回は関東鉄道と調整していないため、掲載を控えさせていただいた。

委員 : ・現行運賃は岩井バスターミナルから守谷駅西口までI C運賃と同じだが、改定後はI C運賃の方が安くなるのはなぜか。

・変えたことの進捗を確認し、問題の原因を1つずつ解決していくと、全体的によくなると思う。

委員 : ・今まではI C運賃でも現金運賃と同じとしていた。今回I C運賃は1円単位に制度を変えた。

会長 : ・審議第1号 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の運賃改定について承認して良いか。

全員 : ・異議なし。

会長 : ・審議第1号 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の運賃改定について承認する。

(2) 審議第2号 坂東市地域公共交通網形成計画の作成について

### ①公共交通の現状について

委員 : ・デマンドタクシーらくらくの1日の稼働台数は何台か。

事務局 : ・市内便2台、市外便2台で、2事業者に2台ずつ運行してもらっている。

委員 : ・2台は少ない。台数が足りず、予約を断ることはないのか。市内全域で運行すると大変ではないか。状況はどうか。

事務局 : ・前日予約することになっている。予約時間帯の集中もあり、断ることもあるが、運行台数は間に合っていると考えている。

委員 : ・デマンドタクシーらくらくは高齢者の利用が多い。まだまだ認知度が低いのではないか。便利なものだと思うので口コミで周知を図るのが良いと思う。利用者から助かったといった意見は集めているのか。

事務局 : ・タクシーのように、家から目的地まで行くことができるので助かるといった声はいただいている。

委員 : ・書き込みがあると周知するのに効果的だと思う。自分で書くことが難しい方は、録音して書き起こすと良い。

会長 : ・便利だと思うという意見をうまく吸い上げられていない。PRが後手後手に回っ

ているので、今後検討する必要がある。

委員 : ・紹介制度を作り、紹介したら紹介者にも半額サービス等の特典を用意してはどうか。チラシや冊子等の配布物では認知度を上げることは難しい。紹介制度は1つのアイデアだと思う。

会長 : ・いろいろな手段があると思うので、検討していきたい。

委員 : ・デマンドタクシーらくらくは、利用者が午前中に集中している。遠方まで移動する利用者がいることによって、他の利用者の予約を断り、不便が生じてはいないか。

事務局 : ・デマンドタクシーらくらくの利用は午前中に集中しており、予約センターについては8:30から受付を開始するが、電話が混み合いつながりにくくなったり、ピーク時には満車となり予約を断ることもある。

・市内の端から端という移動はあまりなく、岩井中心部への移動が多い。

・人の手で、経験値により、予約の受付と配車を行っている。非効率な場所への移動の予約は夕方に変えてもらう施策も必要と考えている。

委員 : ・運行事業者側の視点ではどうか。

委員 : ・デマンドタクシーの運行と予約センター業務を担っている。

・申込時間が集中してしまう。9時から10時台は断ることもある。

・電話機1台、1人で予約対応を行っているため、1人の電話予約を受けている間は他の予約の電話が繋がらず、市役所に問い合わせが入ることもある。

・利用者は年配の方が多く、耳が遠くうまく申し込みができない方もいる。

着信電話番号で誰かわかるようにはしているが、予約には時間がかかる。そのため、何回かけても電話がつかないという苦情が寄せられる。1人で対応しているのでやむを得ない。

・現在1,325世帯が登録している。世帯の6%程度と1割にも満たない登録数である。登録しても予約の電話が繋がらないから登録しても仕方がないと思う方もいると思う。

・茨城西南医療センター病院は、年間延べ5万人が利用していることを踏まえると、デマンドタクシーの登録数が少なく、知れ渡っていないと思う。特に、市外の病院にも行けるようになったことを知らない方が多いと思う。デマンドタクシーに登録した方は、市内便も市外便も両方利用できる。

・デマンドタクシーについて、分かりやすく紹介する記事をお年寄り向けに字を大きくして、大見出しで、広報に載せるよう検討してほしい。

・1人でも多くの方に乗っていただきたい。

・きぬ医師会病院にも行けるので、よろしく願いたい。

会長 : ・予約が集中することについては以前から心配していた。しっかりと対応する必要がある。

・市外病院への乗り入れは要望があり、今年度から実証運行を開始した。きぬ医師会病院の利用者はまだ少ない現状である。いかにしてPRしていくかが重要であ

る。

事務局：・市は運行して終わりではなく、啓発活動にもしっかりと力を入れて取り組んでいく。広報には字を大きくして掲載するというご意見をいただいたので、分かりやすい広報に努めていきたい。

委員：・乗合バスを2ルート運行している。坂東市と境町の小さな範囲の中で円を描くように運行している。

・岩井ルートは、岩井高校の通学、境ルートは、境高校の通学と茨城西南医療センター病院への通院に利用されている。

・古河市から境町を通り岩井へ営業に来る方や、石下から来る方からどのように行けば良いかという問合せがあった。

・デマンドタクシーの市外便の実証運行については存じている。バスは1日4便であり対処できない。デマンドタクシーらくらくの市外便はできるだけ安く、市民が使いやすいようにして欲しい。実証運行の段階なので、これから検討することだと思う。

・車のない方も多数いる。その方の要望に応え、ノンステップバス車両を導入した。少しずつ要望に応じている。気分よく利用できるバスにしたい。坂東市民の一員として頑張っていきたい。

会長：・これからも協力して欲しい。

・デマンドタクシーの利用料金は、地元タクシー業者への配慮も含めて試験的にこのような形で始めた。必要であれば今後議論していきたい。

委員：・守谷まで2路線運行している。

・「急行坂東号」は6月に乗降調査を行った。まだ結果は出ていないが、増減はほぼないだろう。「直行坂東号」は便数が減ったため、1便あたりの利用者数は若干増えていると思う。

・公共交通網形成計画の中で直行坂東号の利用促進も組み入れてもらえると良い。

・運賃改定については、新たにIC運賃を導入する。初乗りは170円で、170円～220円区間のIC運賃は改訂後も据え置きか下がることになる。今までは四捨五入していた。

・IC運賃になり、ICカードを使うと乗車時間が短縮し、定時性も向上し、良いこと尽くめである。IC運賃の促進も進めていきたい。

会長：・直行坂東号は6便から3便に減らした。必要な個所を残した。計画策定の中で、利用状況を勘案しながら協議してほしい。

委員：・団体でも公共交通はますます必要になるという話が出ている。高齢者の運転の事故対策として、なるべく免許返納してもらおうという意味でも、もっと使いやすい公共交通にする必要がある。

・この会議にはほとんどの団体の長が参加している。各団体の長が宣伝し、お知らせするとスムーズに下に伝わっていく。各団体を利用して啓発すると良い。

・こういう使い方をすると便利というモデルコースを示すと良い。使い方が分から

ないとバスを利用せず、車で出かけてしまう。きぬ医師会病院や茨城西南医療センター病院に行き、帰りにまちなかで買物等の用事を済ませて帰るモデルコースが、女性や高齢者にとって必要である。これにより普及が早く進むと思う。協力するのでよろしくお願ひしたい。

事務局：・女性にとって、高齢者にとって、という視点はキーワードとしている。皆様の意見をまた聞いて検討していきたい。

会長：・マスコミでも高齢者の運転の事故が大きく報じられている。免許証の返納を促進するためにもメリットが出るようにすぐに取り組む必要がある。内部調整を進めていく。

委員：・工業団地で仕事をしている。  
・公共交通は工業団地への通勤に使える。派遣社員が増え、守谷市や坂東市からの募集が多いが、車がないために来れず人が集まらない。  
・社員用のバスを運行している会社もあるが、就業時間がバラバラで、五月雨式に出勤するため、バスで対応することが難しい会社もある。守谷駅や水海道駅から通勤用のバスを運行してもらえるとありがたい。

事務局：・せっかく工業団地があっても人が集まらないというのは重大な問題である。必要な公共交通の検討について、今後も協力をお願いしたい。

会長：・工業団地へは新たに企業を誘致しているという話が担当部署にも挙がっている。そのような点も含めて今後議論していく。

## ②坂東市地域公共交通網形成計画の作成について

委員：・コンサルタントにはどこの市でも使える提案ではなく、具体的に進められる提案をして欲しい。

事務局：・今年度はニーズ把握や分析をコンサルタントにお願いする。  
・市の状況として、公共交通が利用できるという考えになってもらうことが重要である。

会長：・法律に位置付けられて網形成計画は作成する。施策内容が実施できるか担保することは重要である。毎年見直しし、改正することが求められる。  
・市民アンケートや公共交通利用者・シニアクラブへのインタビュー調査、工業団地等へのインタビュー調査、交通事業者・運行受託者へのヒアリングで市民ニーズを取りまとめ、分析し、色々な意見を聞き、具体的に検討していく。少子高齢化や財源が限られているという状況の中で、コンパクトプラスネットワークの実現のため、立地適正化計画と合わせて作ることが求められている。皆様の意見を聞いて作っていきたい。

委員：・コミュニティバスは子どもたちの通学に利用されている。子どもたちは中学、高校、その先とあり、若者の流出が課題である。市民アンケートを何のためにやるかという軸がずれていないか。市民が使うためにという軸でないといけない。  
・デマンドタクシーらくらくにこれだけの経費がかかっていることに驚いた。お年

寄りや中高生は利用方法を知らない。病院に行きたくても病気になるのはその日であるから、前日に予約はできない。

- ・子どもたちもいるので年齢層も含めて広く見てほしい。
- ・子どもたちが野田市や守谷市から帰ってくる際の安全性がほしい。愛宕駅から1時間に1本のバスに乗れなかったり、守谷駅に親が迎えに行けなかったりしたらどうするのか。市民が何を望んでいるのか調査するアンケートではないのか。
- ・これから先がある中高生や子供たちにもアンケートを配ってほしい。

事務局：・子どもたちの利用もニーズとして把握したい。アンケートについては後ほど説明させていただきたい。

会長：・スクールバスの必要性等も検討する必要がある。計画の中では議論していきたい。ニーズを聞いて良くなっていくと思うので、いろんな意見を聞いて進めていきたい。

### ③市民アンケート調査等の実施について

- ・意見なし。

### (3) その他

委員：・人手不足で外国人も働いている。外国人は自転車を通う人もいる。

- ・野田市駅から最終の22時の路線バスに乗った。若い人が15～16人、坂東市内まで乗っていた。金曜も土曜も日曜も同様であった。坂東市では行く場所がないから他市に行っているのではないか。
- ・皆様、路線バスを活用することにしてほしい。外国人の人にも楽しんで住んで働いてもらえる場所にしたい。率先してバスを利用していきましょう。

事務局：・次回の会議は10月下旬の開催を予定している。

以上

## 令和元年度 第1回坂東市地域公共交通会議 出席者名簿

(順不同・敬称略)

区分	所 属 等	役 職 等	氏 名	備 考	
1	関東鉄道株式会社	常務取締役兼自動車部長	武藤 成一		
2	(1) 茨城急行自動車株式会社	総務部長	伊藤 友己	欠席	
3	株式会社昭和観光自動車	代表取締役社長	小林 昭仁		
4	(2) 中山観光自動車株式会社	代表取締役	中山 茂		
5	(3) 有限会社ナガツマ交通	代表取締役	長妻 凡夫		
6	(4) 一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	服部 透	欠席	
7	(5) 一般社団法人茨城県バス協会	専務理事	澤島 政志	欠席	
8	(6)	坂東市商工会	会長	上坂 理一	
9		岩井モール商店街連合会	会長	関根 儀一	欠席
10		坂東市商工会沓掛支部	支部長	猪瀬 忠男	
11		坂東市区長会連合会	会長	中村 洋一	
12		坂東市シニアクラブ連合会	会長	中山 邦志	
13		ばんどう市女性団体協議会	会長	服部 恵子	
14		一般社団法人坂東青年会議所	理事長	吉田 伸雄	
15		境地区交通安全協会坂東支部	副支部長	木村 藤一	
16		坂東市交通安全母の会	会長	森平 道子	
17		坂東市PTA連絡協議会	会長	石塚 孝	
18		坂東市社会福祉協議会	事務局長	鈴木 康夫	
19	坂東市民生委員児童委員協議会	岩井地区民生委員児童委員協議会会長	花島 美津子		
20	(7) 国土交通省関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	皆川 誠司	欠席	
21	(8) 関東鉄道株式会社労働組合	執行委員	谷田部 正利		
22	(9)	筑波大学システム情報系	教授	鈴木 勉	
23		茨城県境工事事務所道路管理課	課長	東ヶ崎 祐二	
24		茨城県境警察署	交通課長	大郷 秀樹	
25	(10) 茨城県政策企画部交通局交通政策課	課長	久保田 博文	代理：茨城県交通政策課 副参事 酒井 雄一	
26	(12)	医療法人社団仁二会 高橋医院	院長	許斐 康司	
27		つくばハイテクパークいわい連絡協議会	会長	末利 忠	株式会社田中食品興業所 つくば工場 工場長
28		坂東まちづくり株式会社	代表取締役	圓崎 一也	
29	会長	坂東市	副市長	鈴木 清	
30	(11)	坂東市	企画部長	金久保 吉之	